

第 57 回 European Council of Civil Engineers (ECCE) 総会・会議報告

土木学会が 1999 年に協力協定を締結した European Council of Civil Engineers (以下 ECCE) の第 57 回総会が 2013 年 5 月 30 日から 6 月 3 日の間で、ポルトガルのリスボンにおいて開催されました。ECCE はヨーロッパ地域における土木建築技術の発展、自然環境保全に貢献するための土木技術者の支援をさらに強化することを目的として、1985 年に設立されたヨーロッパ地域の土木関係学協会連合組織です。

土木学会は今回の ECCE 総会に、小野武彦会長（当時、現・土木学会顧問）はじめ計 4 名を派遣、同会議に参加、出席しました。今回の ECCE 総会参加の主な目的は、土木学会の活動紹介、2014 年に開催される土木学会創立 100 周年記念行事の案内と参加の協力要請ならびに土木学会と ECCE 間の協定書の更新です。

ECCE 総会の開会式では、小野会長によるご挨拶があり、引き続き行われた ECCE Conference では、土木学会活動ならびに土木学会 100 周年記念行事に関するご講演いただきました。その後会場を移して行われた土木学会と ECCE 関係者との会合では、ECCE からは Fernando Branco 会長、Wlodzimierz Szymczak 次期会長、Gozard Humar 前会長はじめ ECCE の理事 9 名が参加され、そこでは小野会長から土木学会 100 周年記念事業の紹介、100 周年記念国際会議ならびに記念式典への参加等の協力を要請しました。会議後、土木学会と ECCE の協定書更新のセレモニーが行われ、小野会長、Branco ECCE 会長、Szymczak 次期会長が署名をし、両学会の交流を今後さらに深めることを約束しました。

ECCE 総会は、ヨーロッパ各国の土木系学会が参集する重要な会議であり、各学会代表者間の、情報交換や意見交換が活発に行われており、今回も参加者間でヨーロッパ地域全体における土木界の在り方を議論し、将来のヨーロッパ地域の方向付けをしている印象を受けました。また今回の ECCE 総会への参加は、アジアから唯一土木学会が参加し、たいへん注目を受けました。今後も相互に大会等の参加による交流を深め、協力・協働をはかり、両学会の交流が継続するよう活動を続けてまいります。



小野会長の講演



ECCE-JSCE ミーティングの様子